

## 動物を迷惑がる人からも歓迎されています。 繁殖の反社会性を広め、去勢不妊を実践する活動。

保健所は野良猫を捕まえて処分することはできない。法律上、そうになっている。  
私たちのような活動をする者がいなかったら、街中が野良猫だらけになり、建設的な解決策が見つからず、毒殺という後ろ向きな解決方法しかないだろう。それでスッキリするという人にとっては、私たちの活動の存在意義など全くないだろう。  
しかし、多少なりとも動物に憐れみの感情があるなら、毒殺したら後味が悪いはず。  
事実、毒殺した者が、後悔からイローゼになったとか幻覚幻聴があるとか、毒殺した者の孫が学校で虐められて登校拒否になったそうだ。

毒殺がダメなら「野良猫へのエサあげ禁止」という方法を思いつくだろうが、これは生命維持の妨害にあたり、動物愛護法に反する。  
結局、野良猫の場合、エサをあげて去勢不妊を徹底し、一代限りの給餌という合法的な方法しかない。

その場合、「去勢不妊を受けさせる気が無い方は、絶対にエサを与えないください。ますます不幸な命が増え、悲惨な死に方をするいのちを増やすだけ。それとも善意の人の良心につけ込んで手術費を出させるように仕向けますか。そんなことをするとそれなりの人相になり、人生の全てが悪循環になります」という広報が必要。なぜなら道徳心に訴えかけたところで道義心のない者には効かない。因果応報を論ずる必要がある。

エサを与えている人が全頭を家に連れて帰れば良い、というのめかなり無理がある。なぜなら、まじめに活動している人ならば、すでに二桁の頭数を保護している。  
無責任にエサを与えて増やした者には家に連れて帰る義務があるが、無責任なエサあげおばさん達の尻ぬぐいで去勢不妊をしまくっている人間にその義務はない。

野良猫が増える原因は、概ね以下の4点。

- 飼い猫に去勢不妊を受けさせず野良化させる。
- 野良猫にエサを与えて去勢不妊をうけさせない。
- ペット店・ブリーダーが捨てる。
- 飼い猫を産ませた人が、一日も早く家から追い出す目的で、誰かれ構わず譲渡する。貰われていった先で野良化する。

ここでは猫についてのみ示したが動物の種類を問わず、繁殖の反社会性を広めることが、嫌いな人にとっても住み心地の良い社会になる。無論、動物を心から思いやる者ならばとくに去勢不妊を理解し、手術費をケチることはしません。手術費が惜しくて動物を捨てる人はそれなりの人相をしています。去勢不妊を受けさせれば、それだけでまともな人相かというところはありません。他人を妬むとそれなりの人相でいづれガンになります。

〒 960-8066 福島市矢剣町 11-3 星野節子 024-563-7650 (電話、ファックス)  
<http://www2.tky.3web.ne.jp/~meme/>  
「アニマルポリス 星野」で検索できます  
<http://ameblo.jp/animal-police>